

裂せしむること、共同戦線を築くこと等に於て、民衆黨、農民黨の指導者と全然一致するのである。  
農民黨よりの三階級の除外は、労働黨をして農民黨、民衆黨と同一性質の小ブルジョア的政策に轉化せしめることのために行はれたのであつて、斯かる意圖の明白に主張された三階級排斥を承認して、然し農民黨と抗争せんとせられたことは農民組合の大なる誤りであつた。

見よ三階級排斥に關しては實に勇放に、而して具體的な決議を採行した中央委員会は、農民黨排斥に關しては僅に抽象的な一片の決議を採行したに止まり、然し其の決議が具體的な行動を伴つて居らぬこの點を遺憾された今日に於ては、單なる空文として存在する以上の何等の價値をも有して居らぬではないか。  
斯くて農民組合は一方に於て、無産者團體の體面をかゝれる農民同盟、農民黨に對する闘争を行つとも、つひに自分自身が反動階級に引きつられて、黨をして非無産階級の方に進ましむることに對しての承認を一時除能なくされるに至つたのである。

### 無産階級黨より小ブルジョア黨への轉化

せねばならぬに拘らず、故意に沈黙を守り、其の存在に對し、暗黙の中に承認を與へたことは右翼幹部が労働黨を如何なる方向に進ましめんとして居るかを物語るものである。  
三、無産階級の政治闘争を行はぬこと  
若し進つてゐる無産階級の政治闘争（労働黨の政治闘争）小作法組合法に關する政治闘争（）に就いては何等の決定をなさず亦其の後に於ても積極的になして居らぬことは、大衆的政治闘争を許さず拒絶すべき無産階級としての使命を自ら放棄し、單なる議會黨選舉運動になり終らんとしつゝあることを證明するのである。

### 支配階級の政策と右翼の政策

労働黨の斯うな、第三回中央委員會に於ける決定は、支配階級に依る無産階級の分裂政策に功を奏せしめたものであつた。  
第一次労働黨に於ける總同盟の組織問題に於ける脱退は、政府をして疾風迅雷に總同盟の解散命令を發せしめる結果を産んだ。即ちそれは政府が無産階級内部の不統一、從つて、總同盟に對する猛烈な大衆的反抗運動を起し得る形勢を創出した結果なのである。

第三回労働黨中央委員會の決定は、何故、黨をブルジョア左黨へ轉化し、總括せしむることにならざるや云ふのか。其の理由は凡そ次の如くである。

一、三階級排斥の排斥  
その理由は「二黨の基礎を確立するまで」と云ふのであるが、現在既に全國に組織されてゐる支部の大部分がこれら三階級の参加によつて組織されて居り、從つて三階級の排斥は既成の黨支部の大部分を否認するといふが如き結果を産むのである。而して斯くて大きな犠牲を拂つてまでも、三階級の排斥した真意は、所謂労働黨の小ブルジョア階級によつて黨の基礎を確立し、黨を無産階級からブルジョア左黨へ轉化せしめるがためであつて、それは例へば民衆黨に對する農民及無産階級政治運動に關する態度に現れてゐる。  
斯くて黨の基礎が確立されても三階級の復讐が實現されぬばかりでなく、小ブルジョアの指導精神に服従せり階級及活動分子は次第へ次へと黨外へ放棄されるであらうことは云ふまでもない。

二、民衆黨に對する沈黙  
單一無産階級の當然の使命として、無産階級の労働黨に對抗して組織された小ブルジョアの民衆黨に對しては沈黙として闘争を開始

然しながら其の後、全國的單一無産階級の労働黨の大衆的輿論と欲求の結果、無産階級の再組織運動が起り、其れが成立に對しては、政府も再度の禁止をなし得なかつた。  
然るに今、我が忠實なる労働運動内部に於けるブルジョアの代理人は、支配階級の無産階級に對する恐怖を、黨をブルジョア化するこゝによつて、取除いたのである。  
政府の無産階級に對しては味方の陣容を統一し、彼等の壓迫に對しては全労働大衆を動員し、力強い反抗運動を捲起す用意と準備を講へることによつて、供へねばならぬのであつた。

然るに黨中央委員會は斯かる決意と準備の代りに、支配階級の前に屈從したのである。  
中央委員會をして斯かる決定をなさしむるために右翼幹部が如何に努力したかは、吾等の紙に述べたところである。

### 我が評議會の労働黨に對する態度

昨年六月、日本農民組合に依つて、全國的單一無産階級の労働運動が提唱せられるや、吾等は最も積極的の運動を支持し、